

代表質疑・質問



市民の命と暮らしを守るという立場が大事!



日本共産党湖南市議員団 ● 松井 けい子 議員

国政・県政の諸課題

- 問** 「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准をするよう求める」ことを市長会・知事会に提案できないか。
- 答** 行っていないませんが、他の自治体と足並みを揃え、平和に向けた取り組みを進めます。
- 問** 原発から再生可能エネルギーへの転換を働きかけ、市で安定ヨウ素剤の備蓄は。
- 答** 緊急時防護措置を準備する区域の範囲外なので備蓄は行っていない。万が一、原子力災害が発生した場合は県や関係機関に協力要請を行います。
- 問** 協力量議ではなく、乳幼児、児童、妊婦等、早期に渡せる手立てを考えるべきでは。
- 答** 対象地域は長浜市と高島市です。本市は屋内退避の対応で可能備蓄は考えていません。

- 問** 対象区域以外の自治体で備蓄しています（実態を挙げる）。子どもの命を守るという立場から検討すべきでは。
- 答** 他市町の状況を調査し、検討します。
- 湖南市施政方針**
- 問** SDGs推進事業での取り組みは。
- 答** 林福連携や農福連携で参加拡大、交付金を活用し官民連携で自然エネルギーの導入により再生可能エネルギーへの転換を進めます。
- 問** JR石部駅周辺整備の進捗や計画の説明会を開催すべきでは。
- 答** 駅舎・南北自由通路整備工事は令和6年3月完成目標。説明会は適正な時期に開催できると調整します。
- 問** 自治会からの道路等の修繕要望は。
- | | |
|-------------------|------|
| 令和3年度 | 465件 |
| 令和4年1月末 | 495件 |
| 国や県に対応を申請する、原因者負担 | 3割 |
| 市で対応約340件 | 7割 |



令和5年度一般会計について



みらいの風 ● 望月 卓 議員

- 問** 一般会計財源確保へ、将来負担となる市債発行、基金からの繰り入れについて
- 答** 地方債については、予算編成時に市債は、「元金を償還する以上に新規の発行は行わない」様に毎年調整を行っています。「負担する世代の公平性」を保つ点から、将来に渡り利用される事業の財源に活用しているところ。また、地方債には後年の償還に対し国の交付税の基準財政需要額に算入されるものもある事から、活用次第では、将来負担の軽減に繋がる制度と考えています。基金の活用は、今回一部財政調整基金を取り崩し、近い将来大型の投資的事業に一般財源見込額の確保が必要となる事から、特定目的基金「公共公益施設等整備基金」、「庁舎整備基金」に積み立ての予算計上をしています。事業への財源を一定額確保する事で、他の事業への影響が極力及ばないようになっています。
- 問** 「天然記念物平松のウツクシマツ自生地」を観光資源として活用推進する観光施策は。
- 答** 今年度、本格的な保全が始まったところ。今後も保護育成に重点をおきながら、昨年の春の「全国植樹祭」で、皇后陛下によるウツクシマツの種を「お手播き」して戴き全国的に周知されたことから、東海道歴史街道文化観光ツアーなど、いろいろな観光ツアーなどを企画し、観光客の呼び込みに努めます。